

平成26年度活動一覧

月	日	活 動 内 容	月	日	活 動 内 容
4	9	第1回センタースタッフ打合せ	10	1	第20回センタースタッフ打合せ
	16	第2回センタースタッフ打合せ		3	利用者向けMATLABセミナー
	23	第3回センタースタッフ打合せ		8	第21回センタースタッフ打合せ
5	7	第4回センタースタッフ打合せ		15	第22回センタースタッフ打合せ
	14	第5回センタースタッフ打合せ		15	第1回情報メディア基盤センター会議
	21	第6回センタースタッフ打合せ		22	第23回センタースタッフ打合せ
	28	第7回センタースタッフ打合せ		25	理工学研究科棟自家発電装置設置
	29	学術情報基盤オープンフォーラム		26	法定停電
6	11	第8回センタースタッフ打合せ	11	5	第24回センタースタッフ打合せ
	11	CTC定例会		12	第27回センタースタッフ打合せ
	18	第9回センタースタッフ打合せ		19	第26回センタースタッフ打合せ
	26・27	国立大学法人情報系センター協議会総会(新潟大学)		26	第27回センタースタッフ打合せ
7	2	第10回センタースタッフ打合せ	12	3	第28回センタースタッフ打合せ
	9	第11回センタースタッフ打合せ		17	第29回センタースタッフ打合せ
	16	第12回センタースタッフ打合せ		17	CTC定例会
	22	第20回東京大学スーパーコンピューティング専門委員会		24	第30回センタースタッフ打合せ
	22	SINET5共同調達説明会	1	7	第31回センタースタッフ打合せ
	23	第13回センタースタッフ打合せ		14	第32回センタースタッフ打合せ
	30	第14回センタースタッフ打合せ	2	21	第33回センタースタッフ打合せ
8	6	第15回センタースタッフ打合せ		3	SINET5回線共同調達説明会
	20	第16回センタースタッフ打合せ		4	第34回センタースタッフ打合せ
	27	第17回センタースタッフ打合せ		18	第35回センタースタッフ打合せ
	28・29	第26回情報処理センター等担当者技術研究会(電気通信大学)	3	25	第36回センタースタッフ打合せ
				11	第37回センタースタッフ打合せ
9	10	第18回センタースタッフ打合せ		13	第2回国立大学法人情報系センター協議会幹事会(岐阜大学)
	17	第19回センタースタッフ打合せ		25	第38回センタースタッフ打合せ
	25	第9回国立大学法人情報系センター研究集会(信州大学)			
	26	第18回学術情報処理研究集会			

平成 26 年度研究会・研修会等参加報告

Japan IT Week(データセンター構築運用展)

日 程：5 月 14 日(水)

会 場：東京国際展示場

参加者：小川康一

内 容：本学のサーバ室の電気使用量や空調を中心としたエネルギーの効率を改善すべく、サーバ・データセンターの空調機器を取り扱うベンダーを中心に商品説明を受けるとともに、改善提案を受けるためのコンタクトを取った。

学術情報基盤オープンフォーラム

日 程：5 月 29 日(木)

会 場：国立情報学研究所

参加者：吉浦紀晃 小川康一

内 容：平成 28 年度より稼働予定の学術情報ネットワーク SINET5 へのアクセス回線共同調達に関する説明会に参加し、埼玉大学の SINET5 へのアクセス回線の決定のための情報収集を行った。(吉浦)
UPKI 証明書発行サービスと SINET5 の回線共同調達を中心に確認した。双方ともに概算金額や導入日程などの重要事項の提示が行われ、情報を持ち帰り報告を行った。(小川)

INTEROP2014

日 程：6 月 13 日(金)

会 場：幕張メッセ

参加者：小川康一

内 容：本学における全学情報基盤システムの次期調達を念頭に、ネットワーク機器の新製品を中心に各ベンダーの商品を視察した。Software Defined Networking に関連するソリューションや対応機器類が盛況であった。

CTC ユーザー会シンポジウム

日 程：6 月 19 日(木)

会 場：京王プラザホテル

参加者：小川康一

内 容：CAUA 総会およびシンポジウムに出席した。シンポジウムでは日本におけるインターネットの黎明期からの歴史などが語られ、大変興味深い内容であった。ユーザー会に参加するメーカーや私大の教職員とも情報交換をはかった。

国立大学法人情報系センター協議会

日 程：6月26日(木)～6月27日(金)

会 場：新潟大学

参加者：堀山貴史 小川康一

内 容：他大学の先進的な実践事例を聴講した。また、他大学の先生方と大学ネットワークにおける認証方式等について情報交換を行った。

第26回インターネットと運用技術研究会

日 程：6月28日(土)

会 場：新潟大学

参加者：小川康一

内 容：自身が研究対象とする OpenFlow による災害時のネットワーク運用手法の研究発表を行った。他大学の先生方より貴重な意見を頂戴した。また、他の発表者の研究発表聴講し、今後の研究や情報基盤運用の参考となった。

SINET5 共同調達説明会

日 程：7月22日(火)

会 場：国立情報学研究所

参加者：小川康一

内 容：SINET5 の回線共同調達の日程、必要となる協定書の締結方法などを再確認した。当初計画されていた日程よりも進捗が遅れていることがわかった。共同調達した際の注意点や、提示された内容を元に学内で意思統一を図った。

第26回情報処理センター等担当者技術研究会

日 程：8月28日(木)～8月29日(金)

会 場：電気通信大学

参加者：小川康一

内 容：本学 FTTL の運用における課題として、利用者によるメディアコンバータ等のネットワーク機器の無断取り外し事例について発表を行った。各大学の参加者から貴重な意見を頂戴した。また、他大学の課題や事例発表を聴講し、今後の情報基盤運用の参考となった。

The 16th Asia-Pacific Network Operations and Management Symposium (APNOMS2014)

日 程：9月17日(水)～9月19日(金)

会 場：National Chiao Tung University (台湾)

参加者：小川康一

内 容：吉浦准教授との共著論文が Poster として Accept され、現地での発表を行った。セッションでは参加者からの質問やコメントを受け、アイデアについては一定の評価を得た。他の研究者の発表を聴講し、今後の研究や情報基盤運用の参考となった。

第 9 回国立大学法人情報系センター研究集会

日 程：9 月 25 日(木)

会 場：信州大学 松本キャンパス

参加者：小川康一

内 容：研究集会の中で今後の研究集会のあり方や、事務局設置案についての具体的な提示がなされ、情報を持ち帰りセンター内で情報共有した。他大学の参加者との情報交換を行い、センターの運用事例等の情報を得た。

第 18 回学術情報処理研究集会

日 程：9 月 26 日(金)

会 場：信州大学 松本キャンパス

参加者：小川康一

内 容：吉浦准教授との共著論文が採択され、本学の合格発表時の Web 負荷に対する取り組みについて研究発表を行った。他大学の先生方から貴重な意見やコメントを頂戴し、今後の業務に取り組む上で大変参考となった。また、他大学の発表を聴講し、今後の情報基盤運用の参考となった。

SINET5 アクセス回線共同調達説明会

日 程：2 月 3 日(火)

会 場：国立情報学研究所

参加者：小川康一

内 容：SINET5 の回線共同調達の日程、必要となる協定書の締結方法などを再確認した。当初計画されていた日程よりも進捗が遅れていることを再認識した。情報を持ち帰り報告を行った。

第 2 回国立大学法人情報系センター協議会幹事会

日 程：3 月 13 日(金)

会 場：岐阜大学 サテライトキャンパス

参加者：島村徹也

内 容：平成 27 年度国立大学法人情報系センター協議会分科会テーマ、地区報告テーマ、調査書及び文部科学省・国立情報学研究所への要望書等について説明があった。また、情報系センター協議会事務局設置に向けての説明があり、意見交換を行った。

平成 26 年度 視察・見学受け入れ状況

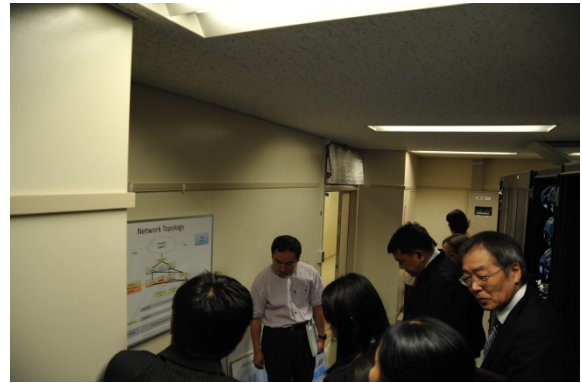
平成 26 年度に受け入れた視察・見学は以下の通りです。

ミャンマー 科学技術省先端技術局、国立情報工科大学（UCSY,UCSM）※1 より視察

日 時：平成 26 年 6 月 9 日(月)

視察場所：情報メディア基盤センター サーバ室他

視察の様子



※1

UCSY = University of Computer Studies, Yangon

UCSM = University of Computer Studies, Mandalay

いずれも、ミャンマーの著名な国立情報工科大学である

サレジオ高等専門学校より見学

日 時：平成 26 年 11 月 18 日(火)

見学場所：工学部講義棟情報メディア端末室、情報システム工学科端末演習室・
中央処理機器室

内 容：コンピュータ教室の更新に伴い、ネットブートシステムの導入を検討されており、本学で運用中のシステムの見学いただくこととなった。

当日は情報メディア端末室の見学をしながら、システムの使い勝手など、稼働中のシステムを実際にご確認いただくことでシステムの検討材料とし、お役立ていただいた。(担当者：情報メディア基盤センター 南雲、小川)

第1回 MATLAB 講習会開催報告

開催日時：平成 26 年 10 月 3 日(金) 14:40～16:10

参加人数：42 名

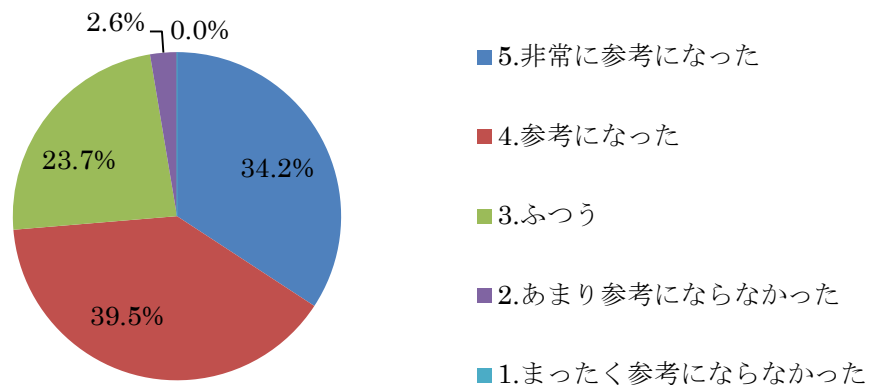
講師：The MathWorks, Inc. アプリケーションエンジニア部
アプリケーションエンジニア 榎本 瑞希氏

- 内容

1. プログラムの高速化のための基本テクニック
ベクトル化、事前割り当て、高速化できる関数について
2. C 言語の援用における高速化
MATLAB Coder を使用した C-MEX 関数の自動生成
3. マルチコア CPU, GPU 等の活用
タスク並列化、GPU の利用

- 参加者へのアンケート「今回の講習会は参考になりましたか？」

	件数	割合
5. 非常に参考になった	13	34.2%
4. 参考になった	15	39.5%
3. ふつう	9	23.7%
2. あまり参考にならなかった	1	2.6%
1. まったく参考にならなかった	0	0.0%
合計	38	100.0%
回答なし	3	

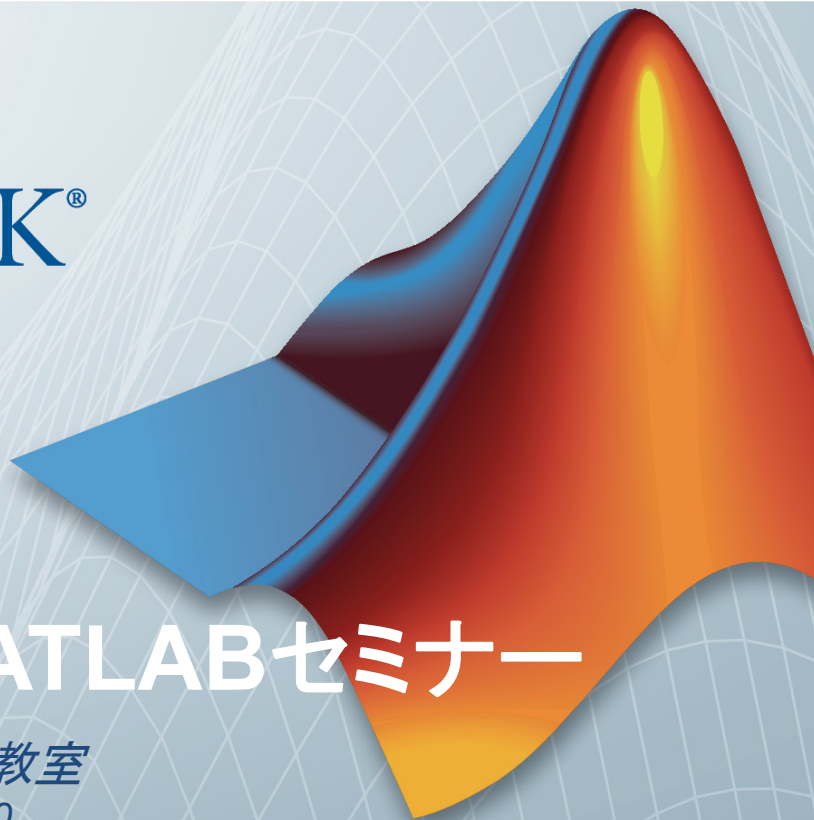


- 参加者の感想

- 理解していない、知らない高速化のための関数を理解することができた。例題により、理解しやすかった。
- MATLAB のコードの書き換えで、3 分の 1 ～4 分の 1 まで計算速度、処理速度が速くなるので試してみたい。
- MATLAB を C 変換することにより処理速度を向上させることができると知った。
- いろいろと勉強になった。
- 例を挙げながら説明していたのでわかりやすかった。内容が盛りだくさんだったので、時間内に終わらなかったのが残念だった。もっと効率よく MATLAB を利用していきたい。
- メモリの事前割り当てをすることで処理速度が速くなるということなので、今作っているプログラムに取り入れていこうと思う。
- 画像処理では速度を必要とするので、今日の方法を活用したい。
- MATLAB を使用したことはないが、今後、利用する可能性があるため、とても勉強になった。
- 簡易にできる事前割り当て等、非常に参考になった。
- ソフトウェア、ハードウェアともに自分の知らなかった関数等がたくさん出てきたので、今後の自分の研究に活用できそう。
- ソフトウェアでの高速化でベクトル化などでの処理がとても参考になった。
- 今まで並列化などを検討していなかったので今回の講習を聞いて使用してみようと思った。
- プログラムのベクトル化についての説明が非常にわかりやすかった。
- ハードウェア側の説明がもう少しあればと感じた。
- 内容が難しすぎた。
- 難しかった。初心者向けの講習会があれば参加したい。

- 参加者からの感想をうけて

70%以上の方に「非常に参考になった」「参考になった」とのお声をいただくことができましたが、プログラムを高速化するためのテクニックを紹介する利用者向けの講習会だったため、参加者によっては難しく感じたようでした。次回は、MATLAB の良さをより多くの方に知っていただけるよう、初心者向けの内容で開催することを検討しています。



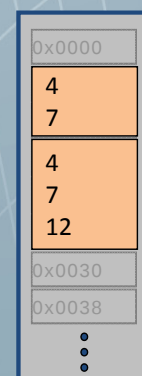
【利用者向け】MATLABセミナー

場所: 総合研究棟1F シアター教室

日時: 2014年10月3日(金) 14:40~16:10

アジェンダ

14:40-16:10	プログラムの高速化と並列化 MATLABプログラムの実行速度はその書き方によって大きく変化します。全く同じ処理を行うプログラムでも、その書き方次第で100倍以上の速度差が生じることも珍しくありません。 本セミナーでは、速度を意識したMATLAB特有のコーディングテクニックに加え、ハードウェアを活用した並列化についてご紹介します。 - プログラムの高速化のための基本テクニック - ベクトル化、事前割り当て、高速化に利用できる関数について - C言語の援用による高速化 - MATLAB Coderを使用したC-MEX関数の自動生成 - マルチコアCPU、GPGPU等の活用 - タスク並列化、GPUの利用
16:15-17:00	技術相談会 セミナー後に、エンジニアが個別のご相談をお伺いいたします。



MATLABの
メモリ格納について



粒子フィルタを使用した
物体追跡計算の高速化

対象者: MATLAB を利用している本学教職員および学生

【お申込先】 情報メディア基盤センター

以下の書式を sinsei@ml.saitama-u.ac.jp まで電子メールでお送りください

件名: MATLAB講習会

- 1) 所属(学部・学科)
- 2) 氏名
- 3) 職位(学生の場合は学籍番号)
- 4) メールアドレス

締め切り: 10月1日(水) ※当日、空席があれば申込みなしでも参加いただけます

【MATLAB/Simulinkに関するお問い合わせ先】
MathWorks Japan

平成 26 年度 東京大学スーパーコンピュータ利用報告

所 属	職 名	氏 名	課 題
書名または発表論文の標題			
理工学研究科数理電子 情報部門情報領域	教授	重原孝臣	行列の種々の標準形の数値計算アルゴリズムの並列化手法の検討
【研究内容】 本研究室で開発中の、実対称固有値問題および特異値分解に対する多分割の分割統治法の並列化手法の改良、並びに、ジョルダン基底・クロネッカ基底計算アルゴリズムの並列化手法の検討を行う。本研究は、逐次処理レベルのアルゴリズムの改良と平行して進めており、逐次処理レベルのアルゴリズムに変更を加えた際に、SR16000 上で、まず、PC レベルの計算機環境では実行できないような大規模行列に対して十分な計算精度が得られるかの確認を行い、その後、逐次レベルのアルゴリズムの変更に伴う並列化手法の検討を行っている。 【研究成果または経過】 今年度は、研究の巡り合せで、実対称固有値問題および特異値分解に対する分割統治法、ジョルダン基底・クロネッカ基底計算アルゴリズム、いずれのテーマについても逐次レベルの改良を中心に進めたため、東大スパコンを十分に活用できたとは申せない状況でした。今年度改良した逐次計算アルゴリズムの並列化手法について、来年度以降、東大スパコン上で検討したいと考えております。			
理工学研究科 物質基礎	教授	吉永尚孝	質量数 130 領域の原子核構造の解明とシッフモーメントの評価
【研究内容】 電気双極子モーメント (E DM) は大きく有限な測定値が得られると、素粒子の標準模型を超えた物理の明確な証拠となる。重い原子核において電荷と双極子モーメントの密度分布が異なれば、シッフモーメントと呼ばれる物理量を通じ、原子に E DMを生み出す。現在、シッフモーメントの理論計算は海外の幾つかのグループにより行われているが、平均場近似に基づいているため計算の信頼性は低い。また、原子の E DMの探索実験は、幾つかの原子に対して上限値が得られているに過ぎない。そこで、本研究では平均場を超えた核子対殻模型により、質量数 130 領域の原子核構造の精密計算を行うと共に、シッフモーメントの系統的に評価する。 【研究成果または経過】 殻模型を用いて質量数 130 領域の核構造の解析を行った。また得られた波動関数を用い、原子核のシッフモーメントを計算した。今後は今まで考慮されていなかったコアの励起の影響を考慮し、シッフモーメントの計算を行う。 【研究成果を公表した場合、題目、発表者名、掲載誌名、公表日等】 N. Yoshinaga, K. Higashiyama and E. Teruya, 「Nuclear matrix elements of the double beta decay for mass around 80」, 日本物理学会秋季大会, Hilton Waikoloa Village Island of Hawaii (ハワイ), 2014 年 10 月 8 日 にて口頭発表			

平成 26 年度研究用ソフトウェア利用研究実績

Mathematica

【論文等】

- R. Homma, Y. Hasegawa, H. Terakado, H. Morita, T. Komine, "Simultaneous measurement of Seebeck coefficient and thermal diffusivity for bulk thermoelectric materials," *Japanese Journal of Applied Physics*, Vol. 54, 026602 (2015).

MATLAB およびツールボックス (プラグイン)

【論文等】

- T. Komuro, H. Kuroda, "Object Tracking and Image Restoration from Multi-Frame Images Captured in a Dark Environment," *ITE Transactions on Media Technology and Applications*, Vol. 2, No. 2, pp. 176-184 (2014).
- M. Moque, Y. Kobayashi, Y. Kuno, "A Proactive Approach of Robotic Framework for Making Eye Contact with Humans," *Advances in Human-Computer Interaction*, Vol. 2014, pp. 1-19 (2014).
- R. Suzuki, T. Yamada, M. Arai, Y. Sato, Y. Kobayashi, Y. Kuno, "Multiple Robotic Wheelchair System Considering Group Communication," *International Conference on Visual Computing*, LNCS8887, pp. 805-814 (2014).
- A. Kanda, M. Arai, R. Suzuki, Y. Kobayashi, Y. Kuno, "Recognizing Groups of Visitors for a Robot Museum Guide Tour," *International Conference on Human System Interaction*, pp. 123-128 (2014).
- M. Arai, Y. Sato, R. Suzuki, Y. Kobayashi, Y. Kuno, S. Miyazawa, M. Fukushima, K. Yamazaki, A. Yamazaki, "Robotic Wheelchair Moving with Multiple Companions," *International Symposium on Robot and Human Interactive Communication*, pp. 513-518 (2014).
- 宮本博司, 渡邊鉄也, 靱田顕章, "初期ねじれを有する長柱および梁の振動特性に関する研究," *日本機械学会論文集*, Vol. 80, No. 814, DR0169 (2014).
- 山田隼也, 渡邊鉄也, 靱田顕章, "摩擦を有する弦の振動特性に関する研究," *日本機械*

学会 第 54 回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集 CD, No. 517 (2015).

- 佐藤陽仁, 渡邊鉄也, 軺田顕章, "管路形状による音波の伝達特性に関する研究," 日本機械学会 第 54 回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集 CD, No. 514 (2015).
- 菊川智大, 渡邊鉄也, 軺田顕章, "脳波を用いた環境音の快適性評価," 日本機械学会 第 54 回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集 CD, No. 607 (2015).
- 原秀治, 渡邊鉄也, 軺田顕章, "たるみのあるケーブルの振動特性に関する研究," 日本機械学会 第 54 回学生員卒業研究発表講演会講演前刷集 CD, No. 613 (2015).
- T. Sakai, K. Kodama, Y. Tozawa, A. Ando, T. Nakamura, Y. Kawada, K. Kageyama, S. Wakayama, K. Hase, S. Ota, "Development of Noninvasive Diagnosis Method for Knee Osteoarthritis using Acoustic Information," *Progress in Acoustic Emission XVII, The Japanese Society for Non-Destructive Inspection*, pp. 43-48 (2014).
- P. K. Dhar, T. Shimamura, "Audio Watermarking Based on Eigenvalue Decomposition," *IEICE Transactions on Fundamentals*, Vol. E97-A, No. 12, pp. 2658-2661 (2014).
- P. K. Dhar, T. Shimamura, "Blind SVD-Based Audio Watermarking Using Entropy and Log-Polar Transformation," *Journal of Information Security and Applications*, Vol. 20, pp. 74-83 (2015).
- L. Liu , T. Shimamura, "Pitch-Synchronous Linear Prediction Analysis of High-Pitched Speech Using Weighted Short-Time Energy Function," *Journal of Signal Processing*, Vol. 19, No. 2, pp. 55-66 (2015).
- P. K. Dhar, T. Shimamura, "A Blind LWT-Based Audio Watermarking Using Fast Walsh Hadamard Transform and Singular Value Decomposition," *Proceedings of IEEE International Symposium on Circuits and Systems*, pp. 125-128 (2014).
- T. Arnantapunpong, T. Shimamura, "Direction-of-Arrival Estimation for Smart Antenna Using MUSIC Algorithm with Data Extension," *Proceedings of International Technical Conference on Circuits / Systems, Computers and Communications*, pp. 75-78 (2014).

- S. Jimaa, L. Weruaga, A. Sadiq, H. Alhammadi, T. Shimamura, "A Fast Converging Improved NLMS Algorithm for Sparse System's Identification," *Proceedings of International Symposium on Nonlinear Theory and Its Applications*, pp. 676-679 (2014).
- P. K. Dhar, T. Shimamura, "Image Watermarking in LWT Domain Based on Nonnegative Matrix Factorization and Singular Value Decomposition," *Proceedings of IEEE International Forum on Strategic Technology*, pp. 144-147 (2014).
- Y. Iwai, T. Shimamura, "Formant Frequency Estimation with Windowless Auto-correlation in the Presence of Noise," *Proceedings of IEEE Asia Pacific Conference on Circuits and Systems*, pp. 81-84 (2014).
- M. Toyoshima, T. Shimamura, "Packet Loss Concealment for VoIP Based on Pitch Waveform Replication and Linear Predictive Coding," *Proceedings of IEEE Asia Pacific Conference on Circuits and Systems*, pp. 89-92 (2014).
- L. Liu, T. Shimamura, "Linear Prediction Analysis of Crosscorrelation Sequence for Voiced Speech," *Proceedings of APSIPA Annual Summit and Conference*, pp. 1-4 (2014).
- K. Honma, T. Shimamura, "Efficient Blind Modulation Detection Using Sub-optimum Maximum Likelihood Function in Multiple Antennas," *Proceeding of RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing* (2015).

【学会・国際会議等】

- J. Dang, Y. Ebisawa, A. Igarashi, "Statistical evaluation of dynamic response for isolated bridges under bi-directional seismic loading," *JAEE Proc. 14th Japan Earthquake Engineering Symposium*, 14, pp. 65-72 (2014).
- J. Dang, Y. Ebisawa, A. Igarashi, "A statistical study for bi-directional seismic interaction effect in isolated bridges," *USMCA Proc. 13th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia*, 13, Session 6-No.4 (2014).

- Y. Ebisawa, J. Dang, A. Igarashi, "Incremental Dynamic Analysis for bi-directional seismic performance of isolated bridges the National Center for Research on Earthquake Engineering (NCREE) and the National Taiwan University (NTU)," *Proc. 5th Asia Conference on Earthquake Engineering*, 5(19-003), pp. 1-7 (2014).
- H. Fukuda, S. Mori, Y. Kobayashi, Y. Kuno, D. Kachi, "Object Recognition Based on Human Description Ontology for Service Robots," *Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society*, (2014).
- A. Lam, Y. Kuno, I. Sato, " Evaluating Freshness of Produce Using Transfer Learning," *Korea-Japan joint Workshop on Frontiers of Computer Vision*, (2015).
- S. Shimizu, H. Koyasu, Y. Kobayashi, Y. Kuno, "Object Pose Estimation Using Category Information from a Single Image," *Korea-Japan joint Workshop on Frontiers of Computer Vision*, (2015).

STAR-CD

【論文】

- 細井健司, 平原裕行, 中村匡徳, "HFO 機能付きバイパス型ネーザル CPAP 素子の開発," 日本機械学会流体工学部門講演会講演論文集 2014, GS48 (2014).

センター利用案内

情報メディア基盤センターでは、以下のシステムの管理運営を行っています。利用には申請が必要な場合がありますので、詳細はセンターの Web サイトを参照してください。

<http://www.itc.saitama-u.ac.jp>

1. 全学情報基盤システム = SERN(Saitama university Education and Research Network)

1) 全学統一認証アカウント

全学生および教職員に、学内のシステム利用に必要なアカウントの発行を行っています。このアカウントで、センターで提供している学内 LAN、Web メールシステム (Active! Mail)、全学情報教育システムの利用、および学内の各部局で管理運営している様々なシステムへのログインが可能となります。

2) 各種ホスティングサービス

3) メーリングリストサービス

4) 代表メールアドレス (組織メールアドレス)

5) ハウジングサービス

6) 全学情報教育システム

ネットブート方式および仮想デスクトップ方式の計 280 台の Windows 端末と 7 台の課金プリンタを配置し、講義および自習利用に供しています。

7) アンチウィルスソフトウェア (Sophos Endpoint Security and Control)

全学生および教職員が利用できるウィルス対策ソフトを提供しています。センターの Web サイトからインストーラーをダウンロードして利用できます。

8) 研究用ソフトウェア

研究や情報メディア端末室での講義に利用できるソフトウェアを有償で提供しています。ソフトウェアの種類や利用料は、センターの Web サイトをご確認ください。

2. 証明書発行サービス

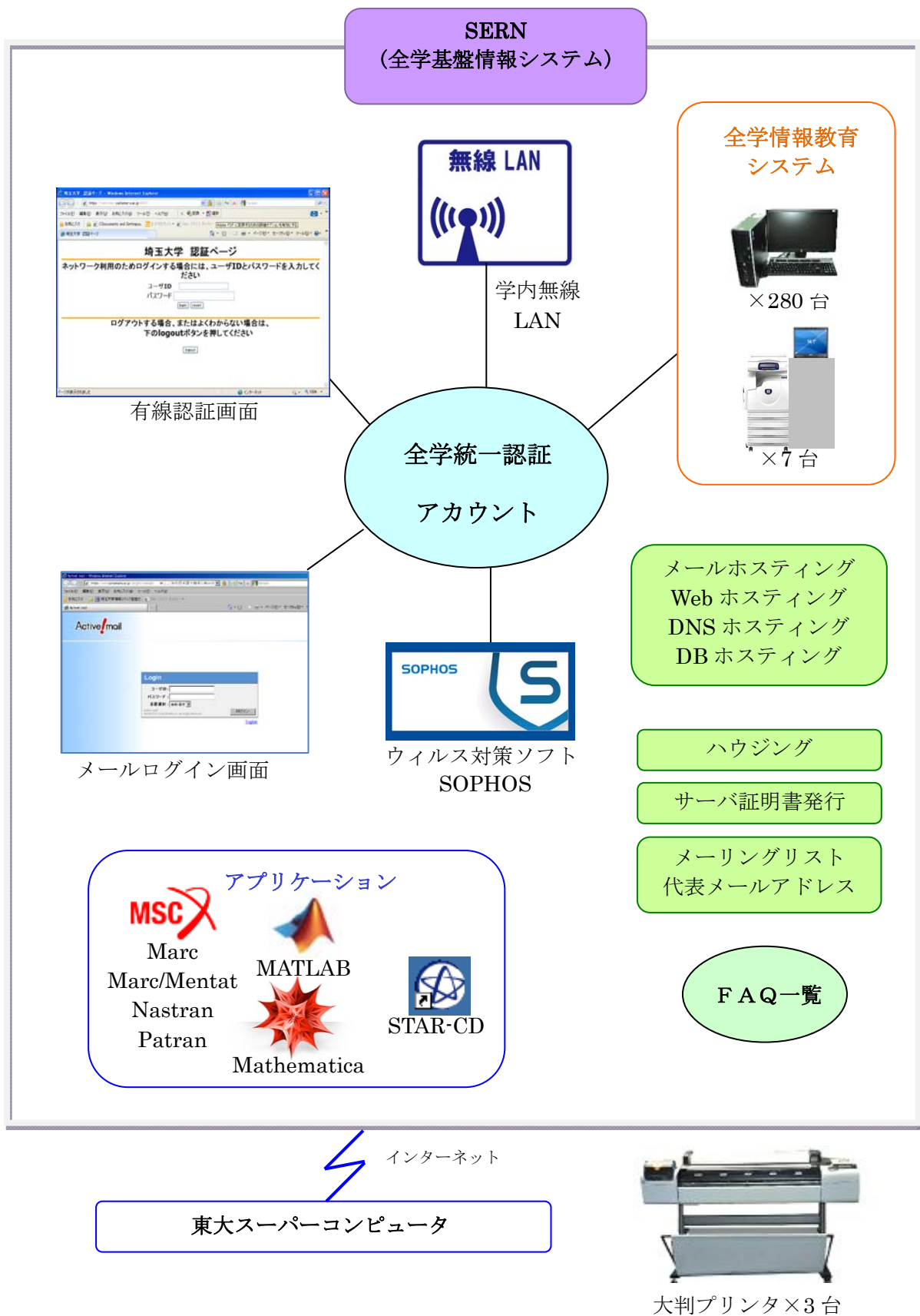
国立情報学研究所の「UPKI 電子証明書自動発行サービス」を利用して、必要なサーバ証明書の発行を受けることができます。

3. 東京大学スーパーコンピュータの利用

パーソナルコースの利用について、一部利用料金の負担と申請手続きを行っています。

4. 大判プリンタ

B0 サイズまで印刷可能なプリンタを利用できます。



平成26年度障害&メンテナンス状況

月日	障害／メンテナンス	内容	原因	対処
4月26日	大学ホームページおよびWebホスティングサービス障害	大学ホームページおよびWebホスティングサービスをご利用のWebページにアクセスできなくなる障害が発生	オペレーティングシステムをはじめとするシステム全体がダウン	ベンダーによるリブート作業
5月10日	フィッシング被害によるメールの大量発信	大学内ユーザがフィッシング詐欺の被害に遭いアカウントを乗っ取られ、大量の迷惑メールを送信。一部プロバイダからブラックリストに登録された	フィッシング被害	注意喚起および一度に大量のメール送信が行えないよう制限
5月26日	課金プリンタ不具合	教育A棟 メディア実習室の課金プリンタがスリープ状態で起動しない	不明	コンセントの脱着
5月30日	課金プリンタ不具合	パソコンのデバイスから課金プリンタの情報が消え、印刷できない状態	不明	端末の起動イメージ再作成
6月16日	データベースホスティングサービスメンテナンス	メンテナンスのため、6月16日18時より数分間、データベース利用不可	メンテナンス	
6月30日	全学情報基盤システムの停止	学内ネットワーク：6/29 16:00～翌6/30 01:00ごろまで停止 認証システム：6/29 16:00～翌6/30 12:30ごろまで停止 教育端末(教育学部・経済学部・図書館)：翌6/30 17:15ごろまで停止 仮想サーバ：7/1 15時ごろまで停止	前日の落雷によると思われる停電の為	各機器を起動
9月29日	課金プリンタ不具合	工学部講義棟情報メディア端末室3の課金プリンタで印刷しようとするエラーが発生し、印刷することができない	用紙トレイの破損	用紙トレイの交換
10月15日	ファイアウォール機器交換	機器不調により交換	機器不調	機器交換
10月25日	停電	学内ネットワークの停止および大学情報システムの停止	自家発電装置設置による停電の為	
10月26日	法定停電	学内ネットワークの停止および大学情報システムの停止	法定停電の為	
10月27日～28日	ネットワーク不具合	学内の一部の部局において、ネットワークが使えない状態	停電の影響により起こったネットワーク機器の不具合および故障	機器再起動・故障機器の交換
10月30日	大学ホームページおよびWebホスティングサービス障害	10月29日未明より、大学ホームページおよびWebホスティングサービスをご利用のWebページにアクセスできなくなる障害が発生	ホスティングサービス利用者のホームページにおいてサーバに負荷をかける処理を行っていたため	当該プログラムの停止
12月25日	DNSホスティングサーバメンテナンス	12月25日(木) 9:00～11:00 ・DNSホスティングサーバに一時的にログインできなくなる ・DNSのサービス自体は、他のサーバによって継続される ・メールなど他のサービスは、継続して提供する	メンテナンス	
1月8日	無線LANアクセスポイント障害	15時ごろ、大学会館の無線LANアクセスポイントの一部において障害が発生	機器不調	機器再起動
1月28日	無線LANアクセスポイント障害	大学会館の一部の無線LANアクセスポイントにおいて接続しづらい状況	機器不調	機器交換
1月29日	メール発送遅延	メールが遅れて配送される状況が発生	一部ユーザによる大量メール送信の為	当該ユーザの送信メールを削除
1月29日	Google関連のサイト閲覧不具合	学内のネットワークからGoogle関連の検索エンジンや、Gmailなどのサービスにアクセスがしにくい状況が発生	不明	上流機器の設定を変更
2月11日	学内ネットワーク停止	学内の工事に伴い、下記の日程で大学構内及び附属学校園等のネットワーク停止、および情報システムの停止	工事に伴うネットワーク停止	
2月11日	学内無線LAN メンテナンス停止	メンテナンスによる学内無線LANの停止(2/11 10:00-12:00)	メンテナンス	

平成26年度全学情報教育システムソフトウェア一覧

平成26年度情報メディア端末室(共通イメージ)並びに教育学部・経済学部・図書館端末にインストール済のソフトウェアは以下の通りです。OSはWindows7です。×は未インストールを表します

分類	ソフト名	バージョン (メディア 端末室)	バージョン (教育学部 他)	備考
統合開発環境	MicroSoft Visual Studio Express	2012,2013	2012	要Microsoftアカウント
ライブラリ	OpenNI,KinectSDK	×	×	機械工学科用
統計処理ソフト	R	2.15.3	2.15.3	
Rの開発環境	R Commander	1.9-6	1.9-6	
Rの統合開発環境	Rstudio	0.98	0.98	
3Dプログラミング環境	Alice2.3	2.3.3	2.3.3	
Arduino言語開発環境	Arduino	1.0.5-r2	1.0.5-r2	
言語開発環境	Processing	1.5.1	1.5.1	
		2.1.1		
BASIC言語	10進BASIC	V7.61	V7.61	
2次元グラフ作成ツール	Ngraph	6.03.53	6.03.53	
3Dソフト	Google Earth	7.1.2.2041	6.1	
	Google SketchUp	×	8.0	開発終了
	SketchUp2014	14	×	GoogleSketchupの後継
CADソフト	JWCAD	7.04a	×	
	PRO/Engineer	対象外	対象外	機械工学科用
PDFファイル閲覧ソフト	Adobe Reader	11.0.8	11.0.8	
Webコンテンツ表示プラグイン	Adobe Flash Player	15.0.0.152	15.0.0.152	
Webブラウザ	Firefox	32.0.1	32.0.1	
分子生物学ソフト	ClustalX	2.1	2.1	
	TreeView	1.6.6	1.6.6	
画像処理ソフト	ImageJ	1.45	1.45	
UNIX風環境実現ツール	Cygwin(G77,gcc,Perl,Emacsなど)	1.7.29	1.7.29	
ライブラリ	LAPACK	3.4.0	3.4.0	
	OpenCV	2.2	2.2	
テキストエディタ	Terapad	1.08	1.08	
マルチメディアコンテンツ再生ソフト	Windows Media Player	12	12	
統合開発環境	ECLIPSE	3.7SR2	3.7SR2	
統合ビジネスソフト	LibreOffice	4.1.4.2	4.2.2.1	
	Microsoft Office Standard	2010	2010	
ファイル転送ソフト	Filezilla	3.7.4.1	3.8.1	
	WinSCP	5.5.4	5.5.4	
ファイル圧縮・解凍ソフト	Lhaplus	1.59	1.59	
マインドマップ作成ソフト	FreeMind	×	0.9	
数学・科学向け教育ソフト	Microsoft Mathematics	4	4	
子ども向け教育用プログラミング言語環境	Scratch	1.4	1.4	
	Scratch1.4+stemdu01	1.4	1.4	
	Scratch2.0が動くためのFlash最新版	15.0.0.152	15.0.0.152	
	Scratch1.4拡張版(なのぼーどAG2モーター、Arduino Leonard対応版)	1.4	1.4	Leonard用infファイルは工学部講義棟のみ利用可能
デジタルオーディオエディタ	Audacity	2	2.0.2	
Java開発キット	Java JDK	1.7.0_51	1.7.0_51	
Java実行環境	JRE	Ver7Up67	Ver7Up67	
ドライバ	PL-2303 Driver	1.6.0	×	
開発環境	Borland C++ Compiler + Cpad for Borland C++ Compiler	5.5.1	5.5.1	
数式処理システム	Mathematica	9.0.1	×	専用イメージ。要申請
数値解析ソフト	MATLAB	2013b	×	専用イメージ。要申請

平成26年度情報メディア端末室利用状況(前期)

時限	曜日	月				火				水				木				金			
	部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数
1限 (9:00～10:30)	情報メディア端末室(1)	経済学部	情報基礎	深水	80													理工研	構造振動の実践シミュレーション	党・松本・齊藤	20
	情報メディア端末室(2)									理工研	数値解析・データ情報処理(E)	門野・長谷川・深堀	30					教育学部	家庭電気・機械・情報処理	工藤	30
	情報メディア端末室(3)					工学部機械	情報基礎	谷山・党・李	80					工学部機械	情報基礎	新田前田	120	工学部機械	数値解析 I	金子	110
	情報メディア端末室(4)																				
2限 (10:40～12:10)	情報メディア端末室(1)	教育学部	情報基礎	星名	67																
	情報メディア端末室(2)									教育学部	情報基礎	緒方	49	理学部物理	情報基礎	荒井	50	教育学部	情報数理	白石	50
	情報メディア端末室(3)	理学部数学科	計算機概論 I	戸野	45	教養学部	情報基礎	内木	180												
	情報メディア端末室(4)																				
3限 (13:00～14:30)	情報メディア端末室(1)					理学部物理	物理学実験2	山口鈴木	15	理学部物理	物理学実験2	山口鈴木	15								
	情報メディア端末室(2)					理学部基礎化	情報基礎	戸野	50					工学部機械	機械工学セミナー	金子	24				
	情報メディア端末室(3)					教養学部	情報基礎(実習①)	内木	100									経済学部	情報基礎	沈(シン)	80
	情報メディア端末室(4)																				
4限 (14:40～16:10)	情報メディア端末室(1)					理学部物理	物理学実験2	山口鈴木	15	理学部物理	物理学実験2	山口鈴木	15								
	情報メディア端末室(2)	教育学部	情報基礎	星名	45	教養学部	情報基礎(実習②)	内木	60	教育学部	情報基礎	緒方	59	工学部機械	機械工学セミナー	金子	24	理工研	知的財産権の概要とその活用	北島	50
	情報メディア端末室(3)					工学部電電	プログラミング演習	長谷川	95					工学部電電	情報基礎	内田(秀)	90	経済学部	情報基礎	沈(シン)	80
	情報メディア端末室(4)									工学部機能材料	情報処理演習	石川	50								
5限 (16:20～17:50)	情報メディア端末室(1)									経済学部	情報基礎	深水	80								
	情報メディア端末室(2)					教養学部	情報基礎(実習③)	内木	40					工学部機械	機械工学セミナー	金子	24	理工研	知的財産権の概要とその活用	北島	50
	情報メディア端末室(3)	工学部	電気電子システム入門(4/28.5/12、5/19.5/26)	田井野成瀬	90	工学部	プログラミング演習	長谷川	95												
	情報メディア端末室(4)									工学部	情報処理演習	石川	50								
6限 (18:00～19:30)	情報メディア端末室(1)									経済学部	情報基礎	深水	80								
	情報メディア端末室(2)																				
	情報メディア端末室(3)																				
	情報メディア端末室(4)																				

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

4/9(水) 3限～5限:基礎生物学実験(端末室3利用)

5/16(金) 3限:男女共同参画社会を考える(端末室2利用)

7/24(木) 1限:工学部 情報基礎(端末室1利用)

8/21(木)、8/22(金) 8:30～18:00 教員免許状更新講習(端末室1、2利用)

9/2(火) 9:30～17:30 生物学実験A(教職生物学実験)(端末室2利用)

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成26年度情報メディア端末室利用状況(後期)

時限	曜日	月				火				水				木				金			
	部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数
1限 (9:00～10:30)	情報メディア端末室(1)																				
	情報メディア端末室(2)																				
	情報メディア端末室(3)	工学部 電電	数値解析とアルゴリズム演習	間邊	75																
	情報メディア端末室(4)																				
2限 (10:40～12:10)	情報メディア端末室(1)	教育学部	情報基礎	星名	61	工学部 応用化	情報基礎	太刀川	70												
	情報メディア端末室(2)													理学部 数学科	情報基礎	柳井	45				
	情報メディア端末室(3)	理学部 数学科	計算機概論Ⅱ	戸野	45																
	情報メディア端末室(4)																				
3限 (13:00～14:30)	情報メディア端末室(1)					教育学部	情報基礎	緒方	62	教育学部	情報基礎	緒方	61								
	情報メディア端末室(2)	工学部 共通	工学入門セミナーWG	小林	45									工学部 機械	機械工学セミナー	金子	24				
	情報メディア端末室(3)	理学部 分子生物	情報基礎	戸野	45	理学部 生体制御	情報基礎	戸野	40	工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 建設	数値解析学演習	ルアン=ヤ オ	40				
	情報メディア端末室(4)					工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15												
4限 (14:40～16:10)	情報メディア端末室(1)					教育学部	情報基礎	緒方	64												
	情報メディア端末室(2)	工学部 共通	工学入門セミナーWG	小林	45									工学部 機械	機械工学セミナー	金子	24				
	情報メディア端末室(3)	教育学部	情報基礎	星名	47					工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15					工学部 電電	プログラミング演習	長谷川	95
	情報メディア端末室(4)	工学部 機械	機械工学演習 (11月末まで)	琴坂 程島	30	工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15												
5限 (16:20～17:50)	情報メディア端末室(1)													工学部 共通	科学技術と知的財産	北島	60				
	情報メディア端末室(2)	工学部 共通	工学入門セミナーWG	小林	45					工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15								
	情報メディア端末室(3)									工学部 機械	プログラミング演習	武沢	110	工学部 機械	機械工学セミナー	金子	24	工学部 電電	プログラミング演習	長谷川	95
	情報メディア端末室(4)	工学部 機械	機械工学演習 (11月末まで)	琴坂 程島	30	工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15					工学部 機能材料	情報基礎(12/18以外)	白井	50				
6限 (18:00～19:30)	情報メディア端末室(1)																				
	情報メディア端末室(2)									経済 学部	情報処理応用	深水	50								
	情報メディア端末室(3)																				
	情報メディア端末室(4)																				

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

12/18(木)3限～5限:生物学実験B(端末室4利用)

1/23(金)4限 英語Ⅱ(ESP2b)(端末室1利用)

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成27年度情報メディア端末室利用予定表(前期)

時限	曜日	月				火				水				木				金			
	部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数
1限 (9:00～10:30)	情報メディア端末室(1)					工学部電電	数値解析とアルゴリズム演習	間邊	70									理工研	構造振動の実践シミュレーション	党	20
	情報メディア端末室(2)									理工研	数値解析・データ情報処理(E)	門野 長谷川 深堀	30								
	情報メディア端末室(3)					工学部建設	情報基礎	谷山・党・李	80					工学部機械	情報基礎	頼田 前田	110	工学部機械	数値解析 I	金子	110
	情報メディア端末室(4)																				
2限 (10:40～12:10)	情報メディア端末室(1)																	教育学部	家庭電気・機械・情報処理	工藤	20
	情報メディア端末室(2)	教育学部	情報基礎	星名	45					教育学部	情報基礎	星名	45	理学部物理	情報基礎	荒井	50	教育学部	情報数理	白石	50
	情報メディア端末室(3)	理学部数学科	計算機概論 I	戸野	45									経済学部	情報基礎	鹿子木	80				
	情報メディア端末室(4)																				
3限 (13:00～14:30)	情報メディア端末室(1)	経済学部	情報基礎	鹿子木	80	理学部物理	物理学実験2	山口 鈴木	15	理学部物理	物理学実験2	山口 鈴木	15	工学部機械	機械工学セミナー	金子	6				
	情報メディア端末室(2)					理学部基礎化	情報基礎	戸野	50												
	情報メディア端末室(3)					教養学部	情報基礎(実習①)	内木	100					経済学部	情報基礎	鹿子木	80		メンテナンス		
	情報メディア端末室(4)																				
4限 (14:40～16:10)	情報メディア端末室(1)	経済学部	情報基礎	鹿子木	80	理学部物理	物理学実験2	山口 鈴木	15	理学部物理	物理学実験2	山口 鈴木	15	工学部機械	機械工学セミナー	金子	6				
	情報メディア端末室(2)					理工研	環境調和材料	長谷川(靖)	10	教育学部	情報基礎	星名	40								
	情報メディア端末室(3)	教育学部	情報基礎	星名	50	教養学部	情報基礎(実習②)	内木	60					工学部電電	情報基礎	内田(秀)	90		メンテナンス		
	情報メディア端末室(4)									工学部機能材料	情報処理演習	石川	50								
5限 (16:20～17:50)	情報メディア端末室(1)										メンテナンス			工学部機械	機械工学セミナー	金子	6				
	情報メディア端末室(2)																	理工研	知的財産権の概要とその活用	北島	25
	情報メディア端末室(3)	工学部電電	電気電子システム入門(4/27.5/11, 5/18.5/25)	田井野 成瀬	90	教養学部	情報基礎(実習③)	内木	40										メンテナンス		
	情報メディア端末室(4)									工学部機能材料	情報処理演習	石川	50								
6限 (18:00～19:30)	情報メディア端末室(1)										メンテナンス										
	情報メディア端末室(2)																				
	情報メディア端末室(3)																		メンテナンス		
	情報メディア端末室(4)																				

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

4/15(水) 3限～5限 理学部分子生物学科 基礎生物学実験(端末室3利用)

8/20(木)、8/21(金)、8/24(月) 8:30～18:00 教員免許状更新講習(端末室2利用)

9/3(木) 9:30～17:30 理学部 生物学実験A(教職科目)(端末室2利用)

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成27年度情報メディア端末室利用予定表(後期)

時限	曜日	月				火				水				木				金			
	部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数
1限 (9:00～10:30)	情報メディア端末室(1)																		メンテナンス		
	情報メディア端末室(2)																				
	情報メディア端末室(3)																				
	情報メディア端末室(4)																				
2限 (10:40～12:10)	情報メディア端末室(1)					工学部 応用化	情報基礎	太刀川	65										メンテナンス		
	情報メディア端末室(2)	教育学部	情報基礎	緒方	50					教育学部	情報基礎	緒方	50	理学部 数学科	情報基礎	柳井	40				
	情報メディア端末室(3)	理学部 数学科	計算機概論Ⅱ	戸野	45																
	情報メディア端末室(4)																				
3限 (13:00～14:30)	情報メディア端末室(1)					工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ (11月～1月)	柿崎	15	工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ (11月～1月)	柿崎	15	工学部 機械	機械工学セミナー	金子	6		メンテナンス		
	情報メディア端末室(2)	工学部 共通	工学入門セミナーWG	小林	45	教育学部	情報基礎	緒方	50					工学部 建設	数値解析学演習	ルアン＝ヤ オ	50				
	情報メディア端末室(3)	理学部 分子生物	情報基礎	戸野	45																
	情報メディア端末室(4)					理学部 生体制御	情報基礎	戸野	40												
4限 (14:40～16:10)	情報メディア端末室(1)	工学部 機械	機械設計演習 (11月末まで)	琴坂 程島	20	工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ (11月～1月)	柿崎	15	工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ (11月～1月)	柿崎	15	工学部 機械	機械工学セミナー	金子	6				
	情報メディア端末室(2)	工学部 共通	工学入門セミナーWG	小林	45	教育学部	情報基礎	緒方	50									工学部 建設	建設工学製図	大窪	45
	情報メディア端末室(3)	教育学部	情報基礎	緒方	50		メンテナンス											工学部 電電	プログラミング演習	長谷川	90
	情報メディア端末室(4)																				
5限 (16:20～17:50)	情報メディア端末室(1)	工学部 機械	機械設計演習 (11月末まで)	琴坂 程島	20	工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ (11月～1月)	柿崎	15	工学部 機能材料	機能材料工学実験Ⅲ (11月～1月)	柿崎	15	工学部 機械	機械工学セミナー	金子	6				
	情報メディア端末室(2)	工学部 共通	工学入門セミナーWG	小林	45									工学部 機能材料	情報基礎	白井	50				
	情報メディア端末室(3)						メンテナンス			工学部 機械	プログラミング 演習	武沢	110	工学部 共通	科学技術と知的財産	北島	70	工学部 電電	プログラミング演習	長谷川	90
	情報メディア端末室(4)		メンテナンス																		
6限 (18:00～19:30)	情報メディア端末室(1)																				
	情報メディア端末室(2)																	経済	情報処理応用	深水	50
	情報メディア端末室(3)		メンテナンス				メンテナンス														
	情報メディア端末室(4)																				

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

日程未定(木曜3限～5限) 理学部生体制御学科 生物学実験B 40名 1日のみ利用

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

教育システム有料ソフトウェア利用申請状況

情報メディア基盤センターでは、下記のソフトウェアについてライセンス契約を結んでおり、教育および研究利用に供しています。

平成 24 年度から原則として、ソフトウェアにかかる経費を利用者負担としました。

課金単位としての「利用者」は、教育利用の場合は科目(講義番号)ごとに、研究利用の場合は研究室ないし講座ごとに 1 利用者と数えます。

なお、利用者の多いソフトは全学的に利用があるものと考え、当センターと利用者との間で負担を分担しています。

利用に関する詳細は、情報メディア基盤センターの Web ページを参照してください。

http://www.itc.saitama-u.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=30

【対象ソフトウェアと利用金額】

Mathematica 20,000 円/年

MATLAB およびツールボックス(プラグイン) 10,000 円/年

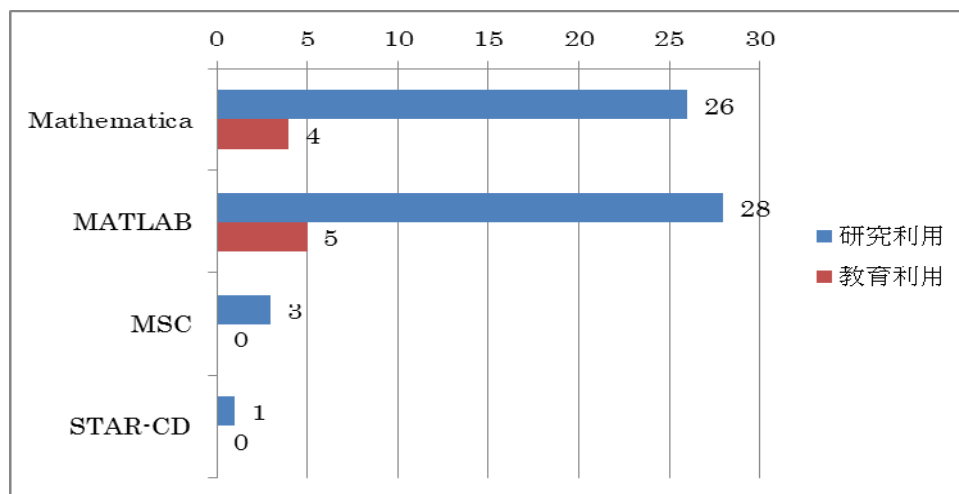
STAR-CD 90,000 円/年

MSC (MARC/Mentat,Nastran,PATRAN) 75,000 円/年

※後期以降の申請は上記金額の半額となります

※利用者の増減等、必要に応じて負担額を見直すものとします

各ソフトウェアの利用用途別「利用者」数は以下の通りです。



平成 26 年度申請状況

平成 26 年度 ソフトウェア別・学部学科別利用状況

ソフトウェア名	学部	学科	利用者数	学部別 小計	合計
Mathematica	経済学部	経済学科	1	1	28
	工学部	環境共生学科	1	20	
		機械工学科	7		
		機能材料工学科	3		
		建設工学科	2		
		情報システム工学科	4		
		電気電子システム工 学科	3		
	理学部	基礎化学科	1	7	
		数学科	3		
		物理学科	3		
MATLAB	経済学部	経済学科	1	1	31
	工学部	応用化学科	1	25	
		環境共生学科	2		
		機械工学科	10		
		建設工学科	6		
		情報システム工学科	4		
		電気電子システム工 学科	2		
	理学部	基礎化学科	3	4	
		生体制御学科	1		
	研究機構	脳末梢科学研究セン ター	1	1	
MSC	工学部	環境共生工学科	1	3	3
		機械工学科	1		
		建設工学科	1		
STAR-CD	工学部	機械工学科	1	1	1

※ 理学部・工学部には理工学研究科が含まれます

大判プリンタ利用サービス

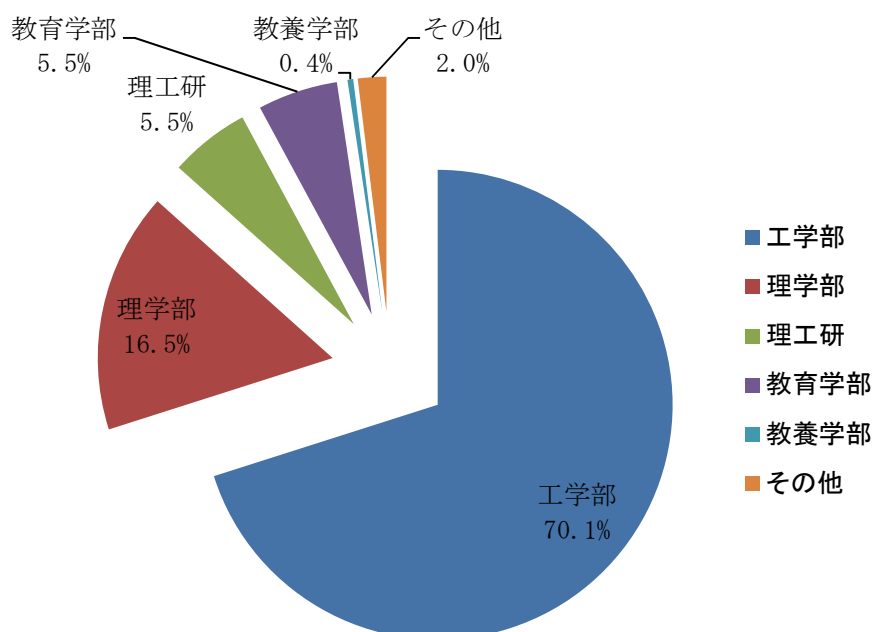
大判プリンタは情報メディア基盤センター 1F マルチメディア室に設置されています。
学会用ポスターの作成等にご活用ください。

利用対象者 本学の教職員および教職員の許可を得た学生
利用料金 1枚500円
印刷サイズ B0サイズまで

平成26年 1月～12月の大判プリンタ利用状況(学部・学科別)

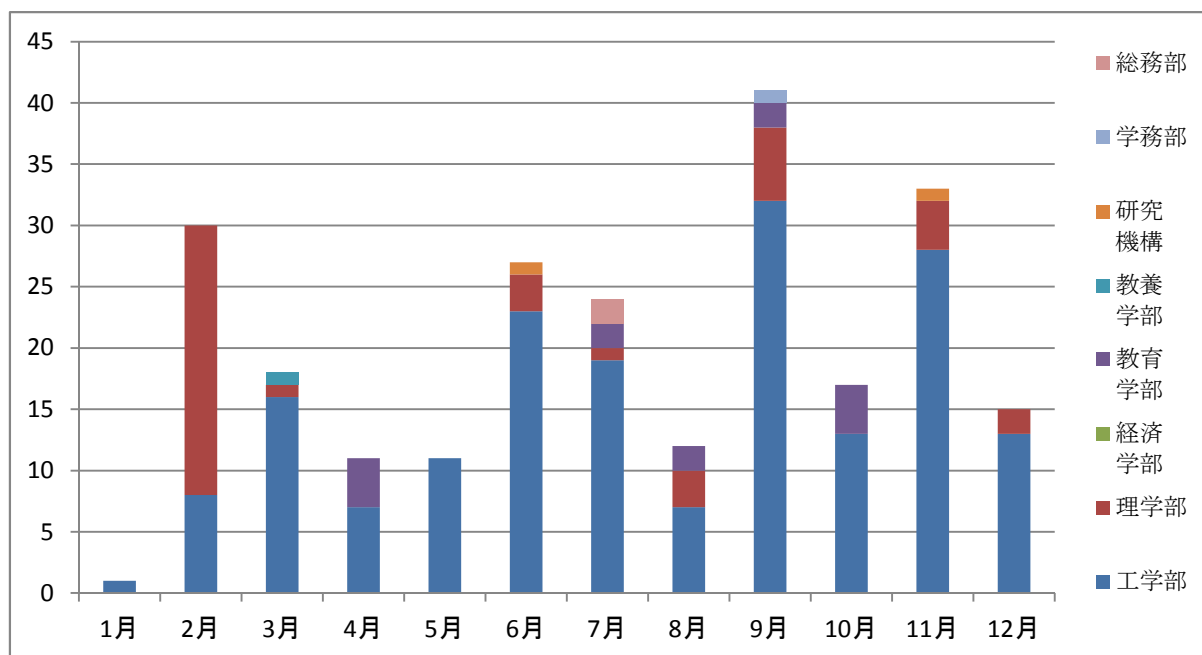
学部など	学科など	利用人数	利用枚数
工学部	機械工学科	10	47
	電気電子システム工学科	10	26
	情報システム工学科	3	47
	応用化学科	3	5
	機能材料工学科	1	14
	建設工学科	8	39
理学部	物理学科	8	42
理工学研究科	理工研総務係・理工研研究支援係	1	14
教育学部		4	14
教養学部		1	1
研究機構	脳抹消科学研究センター	1	2
学務部		1	1
総務部		1	2

学部別利用枚数



月別部局別大判プリンタ利用状況(平成26年1月～12月)

部局 月	工学部	理学部	理工学 研究科	経済 学部	教育 学部	教養 学部	研究 機構	学務部	総務部	合計
1月	1									1
2月	8	22								30
3月	16	1				1				18
4月	7				4					11
5月	11									11
6月	23	3					1			27
7月	19	1			2				2	24
8月	7	3			2					12
9月	32	6			2			1		41
10月	13		10		4					27
11月	28	4	4				1			37
12月	13	2								15
合計	178	42	14	0	14	1	2	1	2	254



大判プリンタの利用には、マルチメディア開発室に入室するためのパスカードが必要です。
パスカードは1枚1,000円（校費振替）で提供しています。
また、情報メディア基盤センター事務室で貸出も可能ですので、お申し出ください。

大判プリンタの詳細は、下記をご参照ください。
http://www.itc.saitama-u.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=28



HP Designjet
T2300ps

情報メディア基盤センター教職員名簿

(平成27年3月)

センター長

島 村 徹 也

shima@sie.ics.

センター教員

堀 山 貴 史 専任教員

horiyama@al.ics.

田井野 徹 専任教員

taino@super.ees.

吉 浦 紀 晃 兼任教員

yoshiura@fm.ics.

(理工学研究科数理電子情報部門)

システム管理室

南 雲 浩 二 技師

nagumo@ics.

小 川 康 一 専門技術員

kogawa@mail.

齋 藤 広 宣 専門技術員

hsaito@mail.

事務

村 松 美由起 事務補佐員

muramatsu@mail.

市 岡 和 代 事務補佐員

ichioka@mail.

中 村 穂 事務補佐員

bayern@mail.

(saitama-u.ac.jp 省略)

時間外オペレータ業務担当 (任期：平成26年10月 ～ 平成27年8月)

吉 岡 直 人 理工学研究科1年次

小 野 和 輝 理工学研究科1年次

後 藤 大 地 理工学研究科1年次

今 泉 知枝美 理工学研究科1年次

三 宅 健 理工学研究科1年次

埼玉大学情報メディア基盤センター規程は、ホームページを参照して下さい。

URL <http://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-2-20.pdf>

いつも何かを問いかけているかのような子どもたちのまなざし。その目には毎日の出来事がどんな風に映っているのでしょうか。同じものを見ているはずなのに、子どもたちの目には大人には見えない何かが見えているような気がします。それは、かつて子どもだった大人たちがいつの間にか忘れてしまった何か…。

何を見て、何を感じているのか…。子どもたちの描いた絵を見たらそれが分かるのでしょうか？

表紙と裏表紙、そしてこのページに掲載している絵は、教育学部附属幼稚園からご提供いただきました。附属幼稚園の園児のみなさんと教職員の方々、および年報作成にご協力いただいた皆様には深く感謝しますとともに、ここに厚く御礼申し上げます。



埼玉大学情報メディア基盤センター年報

『 さいたま 』

Vol.22 2015.7（平成 27 年）

発行者 埼玉大学情報メディア基盤センター

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

電話 048-858-3674

Email itc@ml.saitama-u.ac.jp